



第31回全国中学生人権作文コンテスト 法務大臣政務官賞 受賞作文「いじめのスパイラル」を映画化
人権(いじめ防止)教育ドラマ【小・中・高校生向け／指導者・保護者向け】DVD 約33分

悩まずアタック! 脱・いじめのスパイラル

文部科学省選定

- ・学校教育教材、中学校生徒向き、特別活動
- ・社会教育(教材)、少年向き、地域社会生活(人権)

企画協力 法務省人権擁護局



♪ 平井堅『一人じゃない』の歌とメロディーが、いじめられている子どもたちの心に訴える—



制作統括・監督 高木 裕己

映学社作品

企画意図

この作品は、いじめの防止対策推進法が成立したことを機に、法務省が主催する全国中学生人権作文コンテストの中で、法務大臣政務官賞を受賞した「いじめのスパイラル」をドラマで映像化したものです。この作文は、実際にいじめにあって悩み苦しんだ、ある女子中学生が、なんとか周囲の人々に悩みを告白するきっかけをつかみ、いじめ問題を解決していく、一つの手がかりを提示する内容です。

この作品を多くの子どもたちが鑑賞することで、いじめられたときは一人で悩まず、いかに勇気を出して周囲の大人に悩みを告白し、解決の道を探ってもらうことが大切であることを伝えます。

また、教師ら周りの大人には、いじめのSOSをいかに早く正確につかみ、的確に対処することが大切であることを訴えています。

作品の概要

いじめなんて自分には関係ないと思っていた、中学1年生の幸子。しかしある日、バレエ部の同学年の仲間からいじめを受け始める。理由がわからず、戸惑い、悩み続ける幸子だが、級友や両親に、すぐに相談することはできなかった。

ある日、幸子は、部室で一人で勉強していると、いじめグループに部室の扉を紐で縛られてしまった。そして、授業開始のチャイムが鳴り、急いで部屋を出ようとするが…。

授業妨害を受けた幸子は、自分で解決する手立てを失ってしまう。

エスカレートするいじめに幸子は、学校の屋上で「いつそ死んでしまえば」と思うが、「もしここで、私が飛び降りれば、悲しむのは母や父…」と思い留まるのだった。

そんな中、幸子は意を決して、いじめの事実を周りに打ち明け始めた。そうすることで、徐々に状況は変わっていった。

そして幸子は、いじめの裏に隠された、ある事実を知るのだった…。

挿入歌 平井堅
『一人じゃない』

制作統括・監督 高木裕己
脚本 浅尾政行 高木裕己
撮影 高橋哲也
照明 佐藤武
音楽 加藤由美子
録音 長隆紀
助監督 桑島岳大 藤崎仁志
コーディネーター 斎藤晃顕

撮影協力 横浜市立浜中学校
横浜市立六角橋中学校

企画協力 法務省人権擁護局
制作・著作 株式会社 映学社

DVD [カラー約33分]

ライブラリー価格 ¥75,000 + 税

学校価格 ¥30,000 + 税

※字幕版も収録されています。

2014年・映学社作品



〒160-0022 東京都新宿区新宿5丁目7番8号らんざん5ビル
TEL: 03-3359-9729 (代表) FAX: 03-3359-4024
<http://www.eigakusya.co.jp/>

●お問い合わせ、お買い上げは……